

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子ども家庭支援論			17759	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
浅井 由美	選択	2				

授業の到達目標

子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。保育の専門性をいかした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。子育て家庭に対する支援の体制について理解する。子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養うとともに、K（思いやり）を考える。

授業の概要

家族の機能、家庭の意義や役割、少子高齢社会・男女共同参画社会における家族関係や家庭生活の変化、地域社会の変容、家族と家庭を取り巻く社会的・経済的状況について概観する。子ども家庭支援の意義と役割、保育士による子ども家庭支援の意義と基本、子育て家庭に対する支援体制や支援方法等について解説する。子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開や関係機関との連携を考える。

授業計画

- 1 子ども家庭支援の意義と必要性
- 2 子ども家庭支援の目的と機能
- 3 子ども家庭支援における保育士等の役割
- 4 保育士に求められる基本的態度
- 5 保育の特性と保育士の専門性をいかした子ども家庭支援
- 6 保護者との相互理解と信頼関係の形成
- 7 家庭の状況に応じた支援
- 8 地域の資源の活用と関係機関との連携・協力
- 9 子育て家庭の福祉を図るための社会資源
- 10 子育て支援施策・次世代育成支援策
- 11 子ども家庭支援の内容と対象
- 12 保育所等利用児童の家庭への支援
- 13 地域の子育て家庭への支援
- 14 要保護児童等およびその家庭に対する支援
- 15 子ども家庭支援に関する現状と課題・まとめ

授業の方法

講義に加えてプレゼンテーションやディスカッションをとりいれる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業中にフィードバックを行う。平常点30%、定期試験70%

欠席について

欠席1回につき3点減点する。

テキスト

松村和子編著『子ども家庭支援論』建帛社

参考図書

内閣府『少子化社会対策白書』
授業中に必要に応じて指示する。

留意事項

「現代家族関係論」を先に履修しておくことが望ましい。

教員連絡先

yumi@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子ども家庭支援の心理学			17763	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
島田 麻美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

授業の到達目標

生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。子どもの精神保健とその課題について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

授業の概要

生涯発達という視点から、発達の諸特徴や発達課題、初期経験の重要性について学ぶ。また、社会や文化の時代的変化とともに変容し、多様化してきた家族・家庭について理解を深める。保育者として、人の生涯発達について理解した上で、家庭の持つ意味と現状、そしてさまざまな課題を抱える子どもや家庭の理解と支援につながる力を身につけることを目指す。テーマに関連する事例を挙げ、具体的な支援場面へどうつなげていくかを考える。

授業計画

- 1 オリエンテーション、生涯発達とは
- 2 乳幼児期から学童前期にかけての発達
- 3 学童期後期から青年期にかけての発達
- 4 成人期から老年期にかけての発達
- 5 親子関係・家族関係の理解
- 6 子育ての経験と親としての育ち
- 7 子どもと家庭の状況
- 8 ライフコースと仕事・子育て
- 9 多様な家庭とその理解
- 10 特別な配慮を要する家庭への支援①
- 11 特別な配慮を要する家庭への支援②
- 12 子どもの精神保健とその課題
- 13 子どもの生活・生育環境とその影響
- 14 子どもの心の健康に関わる問題
- 15 まとめ

授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

グループ発表後は、担当教員よりフィードバックを行う。平常点30%、課題レポート20%、定期試験50%

欠席について

学内の規定に従う。

テキスト

原信夫・井上美鈴編著『子ども家庭支援の心理学』北樹出版

参考図書

松本園子他『子ども家庭支援の心理学』ななみ書房